

わちエダより

題字 吉田蒼月

Vol.45

平成31年(2019年)
2月発行



診療情報

Pediatric Allergy Center

小児アレルギーセンター

専門性の高い

「トータル・アレルギーケア」を提供します。

小児アレルギーセンター長
柘植 郁哉 医師

結果報告

平成30年度
外来・入院患者満足度調査

PICK UP! 改善事例

みなさまの声がカタチになりました。

インフォメーション

あんじょう健康大学 講座のご案内

お子さんの成長に寄り添い、専門性の高い「トータル・アレルギーケア」を提供します。



近年増加傾向にある子どものアレルギー疾患に対応するために、昨年4月当院に「小児アレルギーセンター」が誕生しました。今回の診療情報では、当センターで行う治療や取り組みについてご紹介します。

地域のアレルギー診療の中核を担う専門医療センター

アレルギー疾患は急激な症状の悪化やQOL（生活の質）が著しく損なわれることにより、日常生活に大きな影響を及ぼします。また現代は巷に情報が溢れているため、自己判断からエビデンス（医学的根拠）に乏しいケアを行い、症状を悪化させてしまうケースがしばしばあり、社会的な問題ともなっています。

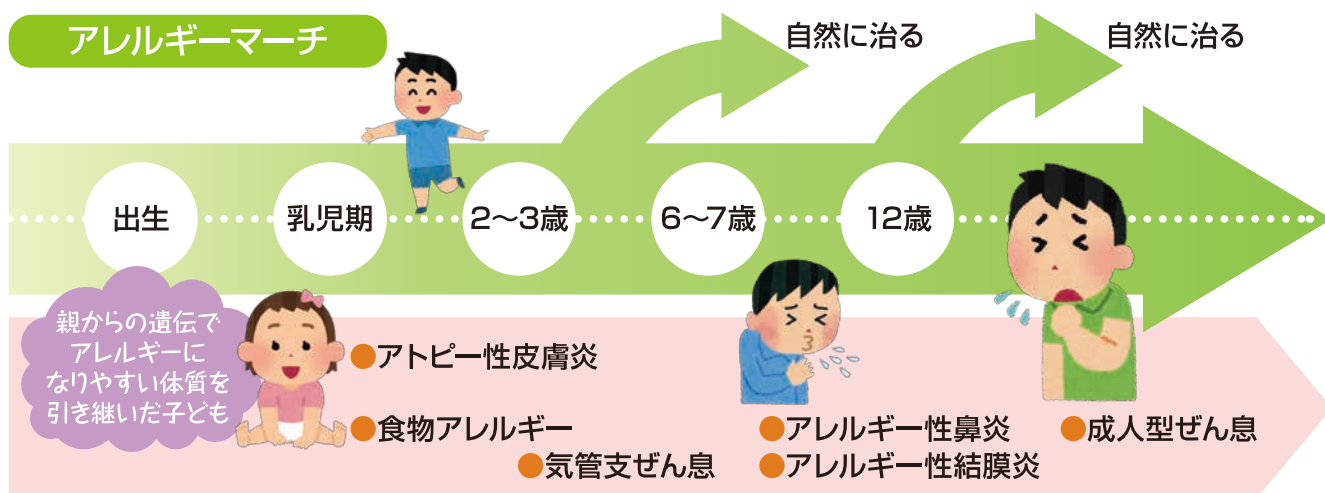
当院小児科では、早くからアレルギー疾患の診療に力を入れてきましたが、増加する患者さんと多様なニーズに対応するため専門医を増員し、小児アレルギーエドゥケーターらスペシャリストを集結させて、新たに「小児アレルギーセンター」を開設。一層充実した診療に取り組んでいます。

成長とともに変化する子どものアレルギーを総合的に診断

子どもの主なアレルギー疾患には、アトピー性皮膚炎や気管支ぜん息、食物アレルギーがあります。このうち乳幼児期にはアトピー性皮膚炎や食物アレルギーが多くみられ、1歳を過ぎるとぜん息症状がみられるようになります。このように複数のアレルギーが連鎖して

現れてくることを「アレルギーマーチ」といいます。

アレルギー体質をもつお子さんがアレルギーを発症すると、アレルギーマーチを引き起こすことが多いため、個々のアレルギー症状だけでなく、一連の流れの中で総合的に診断・治療を行う必要があります。



小児アレルギーセンターで治療を行う主な疾患

子どものアレルギー疾患に精通したアレルギー専門医が、アレルギーマーチの発生リスクや重症化予防を視野に入れ、先を見すえた総合的なアレルギー診療を提供します。

食物アレルギー

特定の食品を飲食することで体内の免疫が過剰に反応し、アレルギー症状が現れる病気です。原因食物や症状はさまざまですが、主な症状としてはじんましんやかゆみ、鼻水、咳、腹痛、嘔吐、下痢などが挙げられます。全身に複数の症状が現れるアナフィラキシーや、血圧低下や意識障害を伴うアナフィラキシーショックなど命に関わる状態に至ることもあり、注意が必要です。

検査
と
治療

専門医のポイント解説

問診と各種検査により総合的に診断します。検査では血液検査や皮膚テストのほか必要に応じて**食物経口負荷試験**を実施し、過剰な食物除去につながることをないように治療計画を立てます。アナフィラキシーのリスクが高いお子さんにはエピペンの処方もしています。

食物経口負荷試験とは？

食物経口負荷試験は原因食物を正確に診断し、安全に摂取できる種類・量を決定するために必要な検査です。当院では専門医の管理のもと、アレルギー症状出現時の対応に万全を期して負荷試験を行っています。

平成29年度の食物経口負荷試験実施件数：314件



アトピー性皮膚炎

強いかゆみと湿疹を主な症状とする皮膚の病気です。湿疹は顔や首、肘、膝などに現れやすく、ひどくなると全身に広がります。もともとアレルギーを起こしやすい体質の人や皮膚のバリア機能が低下した人に多くみられ、慢性的な経過をたどるのが特徴です。

検査
と
治療

専門医のポイント解説

治療の柱は薬物療法・スキンケア・環境への対策で、適切な治療とケアにより大半の人は日常生活に支障がないレベルに症状を抑えることができます。なお近年の研究から、離乳食前に湿疹があると食物アレルギーを発症しやすいことが解ってきました。当院では産科と連携して妊産婦さんに情報を提供するとともに、発症リスクの高い新生児をもつ方にスキンケア指導を行い、アレルギーの進展予防にも力を入れています。



気管支ぜん息

気道が慢性的に炎症を起こすことでさまざまな刺激に過敏に反応し、気道が狭まり息苦しくなる病気です。ゼーゼー、ヒューヒューという音を伴う呼吸や咳が特徴です。子どもの3～9%と発症頻度が高く、約80%が3歳までに発症します。

検査
と
治療

専門医のポイント解説

薬の進歩により、ぜん息は以前に比べ格段にコントロールしやすくなっています。ぜん息の薬には発作時に吸入する薬と、気道の炎症を鎮めるための長期管理薬があります。当センターには小児アレルギーエドゥケーターの資格をもつ薬剤師がおり、お子さんの年齢や症状に合わせて薬や吸入器、補助具などのデバイスを検討し、正しい使用法を丁寧に指導します。



院内外の連携で、お子さんの安全と安心をサポート

八千代病院小児アレルギーセンターは、地域のアレルギー診療の中核を担う専門医療センターとして、以下の3つを活動の基本方針に掲げ、アレルギーを抱えるお子さんが安心して生活できるよう支援します。

方針 1 エビデンスに基づく 質の高いアレルギーケア

近年、アレルギー研究の進歩はめざましく、新たな知見や治療法の有効性が示され、アレルギー疾患へのアプローチは大きく変化してきています。例えば食物アレルギーに関しては、これまで「完全除去」が基本でしたが、近年は検査により安全に食べられる量を見極め、摂取できる量を食べたほうがアレルギーの重症化を防ぐとして推奨されるようになりました。

当センターでは、アレルギーの広範な知識を学び、豊富な臨床経験をもつスタッフが、最新のエビデンスに基づく質の高いアレルギーケアを提供します。



「スタッフには、常に知識と技術のアップデートに努めるよう指導しています」と話す、小児アレルギーセンター長の柘植郁哉医師。



小児アレルギーエドゥケーターは、高度なアレルギーの専門知識と指導技術を身につけた専門職です。

方針 2 多職種連携によるチーム医療

アレルギー疾患の多くは長期的な治療とセルフケアが必要となります。そこで専門医と連携して小児アレルギーエドゥケーターや栄養士らが治療に携わり、ぜん息治療で使用する吸入器の使い方、アトピー性皮膚炎のスキンケア方法、食物アレルギーの治療食の作り方などを具体的に指導します。

お子さんとお家族の疑問にしっかりと耳を傾け、治療に前向きに取り組んでいただけるよう丁寧な説明を心がけています。

方針 3 地域のアレルギー対応力向上

成長期のお子さんとお家族の不安や負担をできるだけ軽減し、病気を抱えながらも地域で安心して暮らせるよう環境を整えていくことも、私たちの使命の一つだと考えています。

そのためセンターでは、市民講座などを通じてアレルギーに関する情報を積極的に発信しています。また食物アレルギーのお子さんが通う学校を訪問し、情報を共有したり、アナフィラキシー発症時の対応について教職員への研修も行っています。



安城市と協働で実施している教職員へのアレルギー対応研修の様子。園・学校や行政、診療所の先生方と連携し、地域全体でアレルギーへの対応力を高めています。

小児アレルギーセンターの予約・受診方法

受診を希望される方は、かかりつけ医にご相談のうえ紹介状をご持参ください。かかりつけ医のない方は、小児アレルギーセンター受付(小児科に併設)に直接お問い合わせください。



【問い合わせ】 ☎ 0566-97-8111 (代)

問い合わせ時間 月曜日～金曜日 / 14:00～16:00
第2・4・5土曜日 / 9:00～12:00

平成30年度

外来・入院満足度調査 結果報告

八千代病院は「クオリティ・ホスピタル」を目標に掲げ、安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、接遇や施設の改善を重ね、患者さんにより満足いただける療養環境の実現に取り組んでいます。その成果を把握し、さらなる改善に役立てるために、年1回実施している満足度調査の結果を取りまとめましたので、ご報告します。

【平成30年度外来・入院満足度調査 概要】

- 対 象：外来患者さん、入院患者さん
- 調査期間：外来 / 平成30年9月3日(月)～5日(水)
入院 / 平成30年9月3日(月)～16日(日)
- 調査方法：無記名式によるアンケート

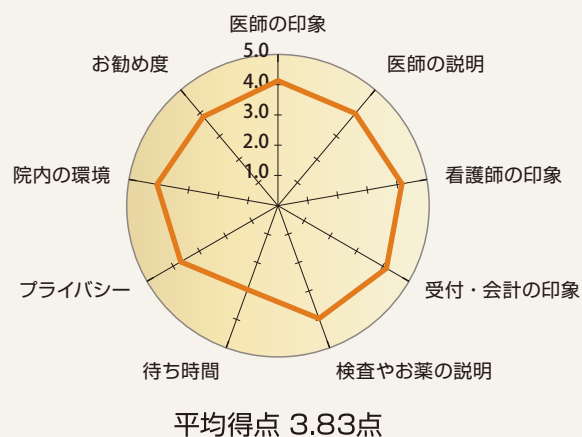
■ 調査票配布・回収数

	配布数	回収数	回収率
外来	1,464	927	63.3%
入院	387	295	76.2%

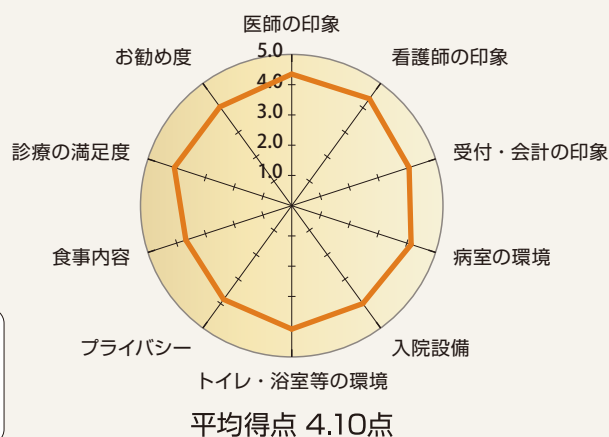


総合評価

■ 外来満足度 回答数：927件



■ 入院満足度 回答数：295件



5…大変良い
4…良い
3…普通
2…悪い
1…大変悪い

【外来満足度調査 結果】

〈凡例〉 大変良い 良い 普通 悪い 大変悪い



※構成比は「該当しない」「無回答」を除く有効回答をもとに算出。小数点2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

自由意見欄にいただいた、みなさまの声

お褒めの言葉

- 医師や看護師の説明が丁寧で分かりやすい。
- 職員の対応が全体的に親切である。
- 院内は明るく清潔で快適である。
- 大病院と比べ、コンパクトで機能的で患者にとって優しい病院だと思う。

ご不満・ご要望

- 診察の待ち時間、特に産婦人科の待ち時間が長い。
- 薬の待ち時間が長い。
- 駐車場が少ない。

【入院満足度調査 結果】

〈凡例〉 大変良い 良い 普通 悪い 大変悪い

設問	有効回答	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1. 医師の印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	292	49.0		37.3	13.7	0.0	0.0
2. 医師による診療の説明は分かりやすいですか?	291	38.1		43.3	18.6	0.0	0.0
3. 看護師の印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	290	47.6		42.4	9.7	0.3	0.0
4. 受付、会計の印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	274	29.9		48.5	21.5	0.0	0.0
5. 放射線技師の印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	209	33.0		44.0	22.5	0.5	0.0
6. 検査技師の印象は(態度、親切さ、身だしなみ)は?	218	30.7		46.8	22.5	0.0	0.0
7. 薬剤師の印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	232	33.6		42.7	23.7	0.0	0.0
8. リハビリスタッフの印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	218	45.0		38.5	16.1	0.0	0.5
9. 清掃スタッフの印象(態度、親切さ、身だしなみ)は?	276	29.0		46.0	24.3	0.7	0.0
10. 入院時の説明や対応はいかがでしたか?	286	38.5		44.4	16.4	0.7	0.0
11. 病室の環境(広さ、明るさ、清潔さ、臭い、室温等)は?	291	32.0		51.5	16.2	0.3	0.0
12. 入院生活に必要な設備(TV、冷蔵庫等)は?	280	26.4		48.6	23.9	1.1	0.0
13. トイレ、浴室、洗面所の環境(清潔さ、使いやすさ)は?	288	30.2		49.3	18.8	1.7	0.0
14. 院内のプライバシーは配慮されていると感じますか?	279	22.2		42.3	31.9	3.2	0.4
15. 食事の内容(味付け、量、温度)は?	239	22.6		30.5	40.2	5.4	1.3
16. 現在の診療について満足であると感じますか?	283	35.0		40.3	22.3	2.5	0.0
17. 当院を家族や知人等に勧めたいと思いますか?	275	30.5		44.7	23.6	0.7	0.4

※構成比は「該当しない」「無回答」を除く有効回答をもとに算出。小数点2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

自由意見欄にいただいた、みなさまの声

お褒めの言葉

- 医師による診察の説明が分かりやすかった。
- 医師、看護師らのチームワークの良さを感じる。
- スタッフが親切で安心して入院生活を送ることができた。
- 設備がしっかりしていて良かった。
- 絵画の展示やミニコンサートが良かった。

ご不満・ご要望

- 食事が好みに合わない。
- 病室の環境が何度お願いしても改善されない。入院時の説明を徹底してほしい。
- 本を読むのに病室の廊下側は暗い。

皆様からの貴重なご意見を今後の病院運営に生かし、よりよい医療と療養環境の実現に努めてまいります。調査に回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

PICK UP!

改善事例

みなさまの声がカタチになりました。



当院では、院内に「みなさまの声」投書箱を設け、
投書への迅速な対応に力を入れています。

みなさまの声をもとに改善に取り組んだ事例の一部をご紹介します。

健診センターにある採尿トイレに
ベビーキープをつけてほしい。



乳幼児を連れた方でも安心して健診センター
を利用いただけるように、採尿用の女子トイレ
にベビーキープを設置。また同様に、4階レ
ディース病棟の多目的トイレにもベビーキープ
を設置しました。



ベビーキープ▲

体格がよい人のための車椅子を
置いてください。



座面が広いタイプの車椅子を1台、正面玄関に
置きました。ただし数に限りがあります。来院時
に他の患者さんが利用していることもあります
ので、あらかじめご了承ください。



▲『幅広タイプ』のタグがついています。

あんじょう健康大学 講座のご案内

Information

「あんじょう健康大学」は安城市と八千代病院、安城更生病院が協働で開催する市民講座です。「いつまでも健康で幸せに生きるには？」をスローガンに、医療者が健康に役立つさまざまな情報をお届けします。

以下の日程で当院講師による講座が開催されますので、ぜひご参加ください。

開催日時：2019年3月9日(土) 14:00～15:00

テーマ：第5講「家族で取り組む、食のアレルギー」

講師：八千代病院 小児アレルギーセンター長 柘植郁哉

■会場：アンフォーレ3階 健康支援室兼講座室

■申込方法：事前申し込み必要。下記保健センターへ電話でお申し込みください。

■申込締切：2019年3月1日(金)

■お問い合わせ先：安城市保健センター TEL.0566-76-1133

詳しくは、安城市のホームページをご覧ください。 <https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/kenko/event/daigaku.html>

参加費無料
定員
80名